

構造物点検の基礎知識習得のための研修開始について

中日本高速道路株式会社は、「安全性向上3カ年計画」の1つとして、道路保全に従事する社員のうち直接点検業務に携わらない社員についても、構造物点検の基礎知識を習得することを目的とした研修を2014年1月から開始しました。

本研修では、高速道路に関わる技術的な用語や点検のポイントなどについて、基本的な知識の習得を図るとともに、名古屋大学に設置した実物の橋梁モデル「ニューブリッジ」を活用した点検実習を行っています。

当社は今後も引き続き、安全性向上3カ年計画を着実に実行してまいります。

■過去の実施状況

○対象者：保全・サービスセンターに勤務する事務系社員（計47名）

	実施日時	受講者数
第1回	2014年1月15日（水）	24名
第2回	2014年2月12日（水）	23名

○場 所：ニューブリッジ（名古屋大学内）



研修の様子（1月15日）



ニューブリッジ全景